

国内シェア **80%**※

電子契約のスタンダード「クラウドサイン」

 **CLOUDSIGN**



日本の今までの契約は
「紙」と「判子」の組み合わせが主流

企業の競争力や、生産性の低下の原因に



紙文書が引き起こす
「業務遅延」 「非効率化」



「無断での判子利用」 や
「偽造判子」 の増加



業務スピードの低下

郵送には数時間～数日かかり
相手が出張の場合は未確認状態が続いたり
捺印依頼のために本社に郵送したり
法務部では契約書をスキャンする手間も



取引先満足度の低下

「今すぐに契約したいが始められない」
「貴社からの書類が大量で業務を圧迫」
知らないうちに取引先から
こう思われています



膨れる間接コスト

郵送したり、倉庫に保管したり、
文書管理システムを導入するなど
間接コストが膨らんでいきます
(電子契約は印紙税も不要)

電子契約でスピードを優先すると
安全性が失われるのではと悩んでいませんか？

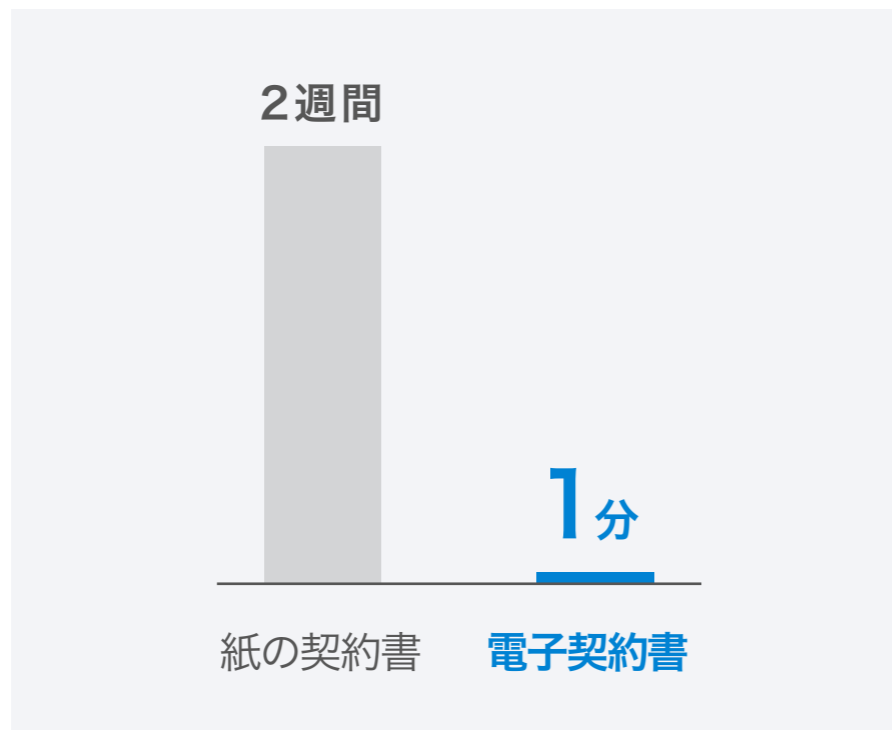


遅いけど安全？



早いけど危険？

電子契約ならスピードアップも安全性も実現できます



契約締結までの
リードタイムの短縮

Two icons are shown: one for email domain authentication (a person with an envelope and a checkmark) and one for digital signature with timestamp (a document with a clock and a checkmark).

メール・ドメイン連動の
本人認証

電子署名+認定タイムスタンプ
で契約時点の完全性を担保

コンプライアンスと
セキュリティ強化

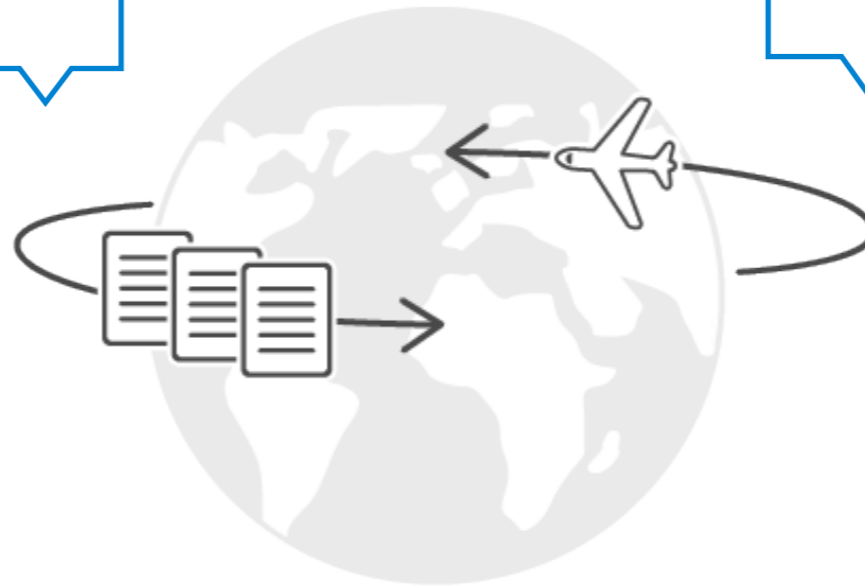
業務効率化の第一歩
契約業務の電子化

世界では電子契約がスタンダード

背景に不安定な郵便サービス事情と解消しえない物理的距離がある

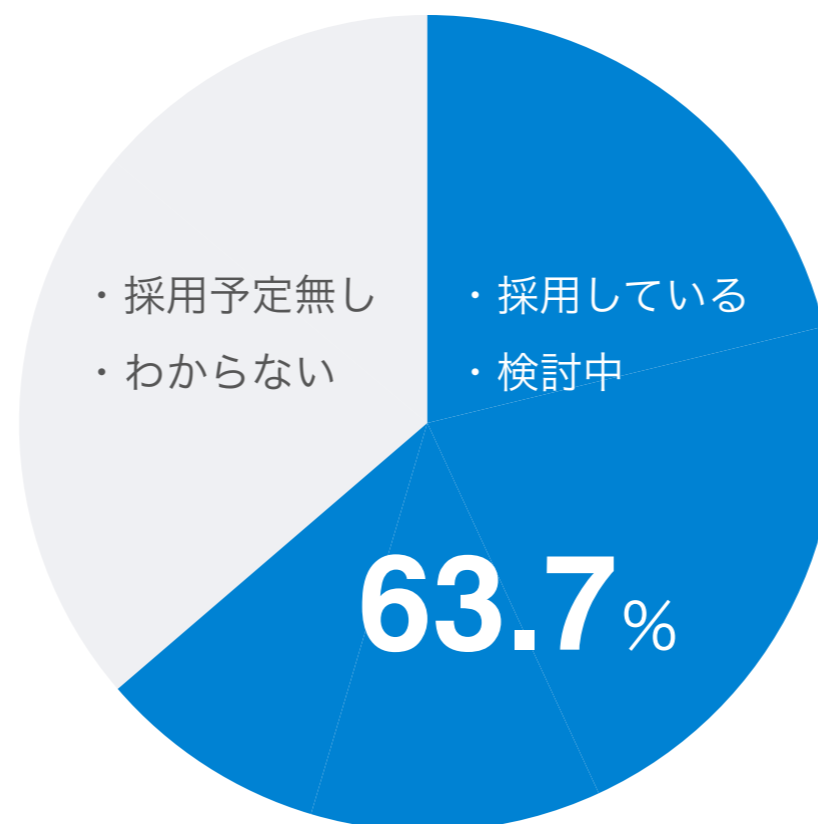
電子契約によって
国をまたぐ、
煩雑な契約プロセスを透明化

電子契約によって
物理的な移動時間と
紛失リスクをゼロに



電子契約普及率は既に**43.1%**、検討中を含めれば**63.7%**に

※JIPDEC2018年調査



■ 電子契約を**採用**している**43.1%** ※一部採用も含む

■ 電子契約の採用を**検討**している**20.6%**

https://www.jipdec.or.jp/library/itreport/2018itreport_spring.html

クラウドサインで電子契約

契約締結から契約書管理まで可能な クラウド型の電子契約サービス

契約交渉済の契約書をアップロードし、相手方が承認するだけで契約を結ぶことができます。
書類の受信者はクラウドサインに登録する必要がありません。



国内電子契約市場を牽引

日本の電子契約市場の立ち上がりを支え、電子契約の普及と共に事業を成長させてきました。
その結果、導入社数は**4年間で50,000社**を超えています。

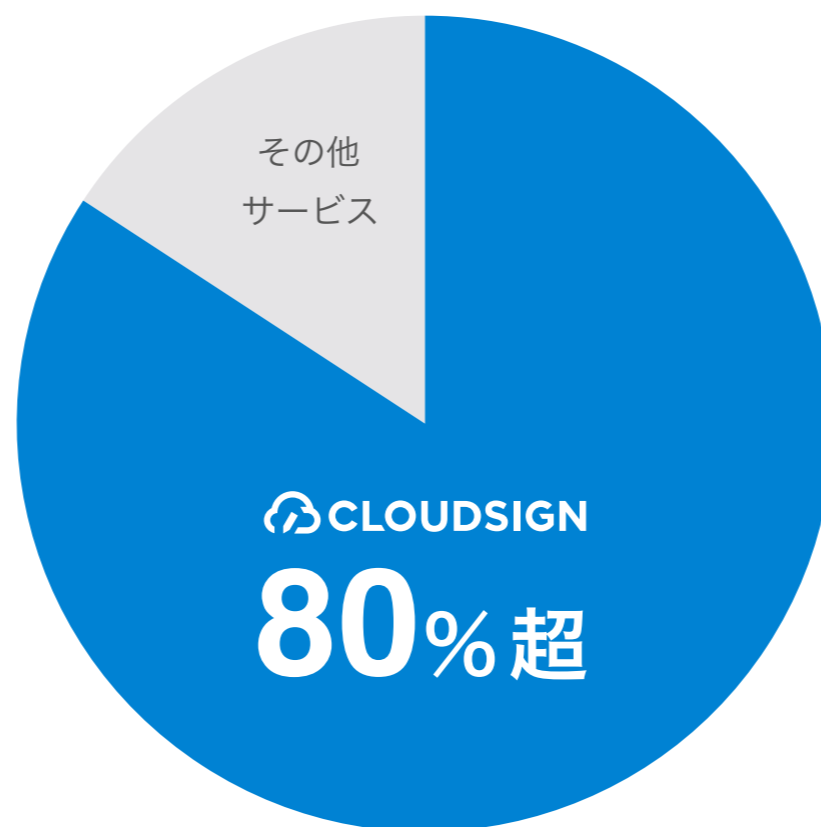


政府へのIT化戦略のご提言





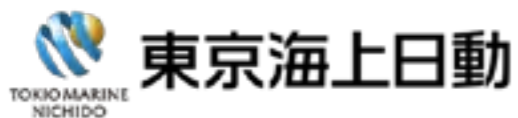
電子契約市場シェア No.1*



*電子契約サービス主要12社において、有償・無償を含む発注者側ベースでの利用登録社数（株）矢野経済研究所調べ 2019年7月現在

クラウドサイン導入企業(一部)





課題 業務委託契約で印紙代と郵送費

解決 印紙代と郵送コストゼロ



課題 工事業者との発注書を紙で大量に処理

解決 発注書・請書を電子化しスピードUP



課題 複数部署をまたぐ煩雑な締結フロー

解決 スムースな取引開始が実現



課題 申込書回収に数日

解決 申込書締結が数時間で



課題 営業が煩雑な契約業務に時間を取られていた

解決 営業行為に専念でき売上UP



課題 年間数十万件の契約書を締結

解決 大量の契約書を一元管理



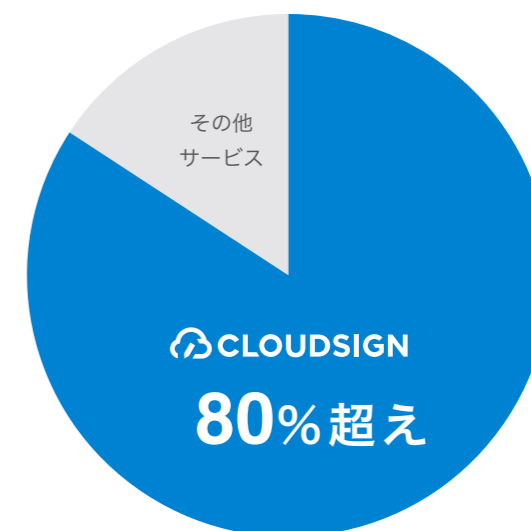
法律の専門家監修の 電子契約サービス

弁護士監修で各種機能開発を行っており、電子帳簿保存法に準拠。さらに「認定タイムスタンプ」を採用しており、法的に安心いただけるプロダクトです。



初めて受け取る側も 簡単操作で安心

初めて利用する方にも直感的に操作いただけるよう、徹底的に利用者目線でUIを作り込んでいます。また、APIも各種サービスやシステムとの組み込みが簡単にできるような仕様になっています。



5万社導入の 導入社数シェアNo.1

5万社以上が導入している電子契約市場No.1のサービスであるため、取引先も既にクラウドサイン導入企業である可能性が高く、導入後も安心して契約締結できます。

「SMBCクラウドサイン」

2019年10月1日 株式会社三井住友フィナンシャルグループとの合併会社
「SMBCクラウドサイン」を設立。
契約から企業活動のデジタル化を推進します。



AIを用いた契約書の作成や、バージョン管理機能、決済機能の追加実装等を行い、全ての契約プロセスについてデジタル化を推進。
当社だけでは困難だったお客様に対する問題解決のご提案ができるようになります。

受賞歴

「2018年度グッドデザイン賞 ベスト100」受賞
「ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2018」ASP・SaaS 部門 準グランプリ受賞
「ITreview Grid Award 2019 Fall」における製品レビュートップスコア獲得
「日本の人事部 HRアワード2019」でプロフェッショナル人事労務管理部門で優秀賞を受賞

 GOOD DESIGN
AWARD 2018



2018年度グッドデザイン賞
ベスト100



ASPIC
IoT・AI・クラウドアワード2018
支援業務系分野準グランプリ



ITreview Grid Award 2019 Fall
電子署名・電子サイン部門
Leader



日本の人事部 HRアワード2019
プロフェッショナル人事労務管理部門
優秀賞

操作イメージ

送信者側



1 書類をアップロード

PDF化した書類をアップロード

2 宛先入力

書類を送信する宛先情報を入力

- 連絡帳から引き出すことも可能
- 複数名を設定、CCすることも可能
(設定した順番に書類が届き、最終受信者が「決裁者」となります)

3 帳票作成

書類の中に署名欄や、チェックボックスなどを必要に応じて設置

4 送信

送信ボタンをクリック

受信者側



1 メールで受信

メールで契約書確認依頼を受信

2 契約書確認・合意

契約書を確認し、内容に問題がなければ「合意する」ボタンをクリック。契約締結完了。

合意締結後の最終ステップ

締結した書類は、送信者・受信者に自動でメールにて届けられます。
(クラウドサイン上にも自動で保管されます)

契約書検索と保管

契約書名、受信者側の氏名、会社名、メールアドレスで検索はもちろん、契約期間や金額などで検索も可能。自動アラート機能で更新前に事前通知を受取る事もできます。スキャンした紙の契約書の取り込み機能もございます。

こんなお悩みを解決できます

- ・ 遠方地の倉庫やキャビネットから過去の契約書を探すのが困難
- ・ 効力が切れる契約書（契約期間が満了し、自動更新条項がないもの）を管理できていない

帳票作成とテンプレート

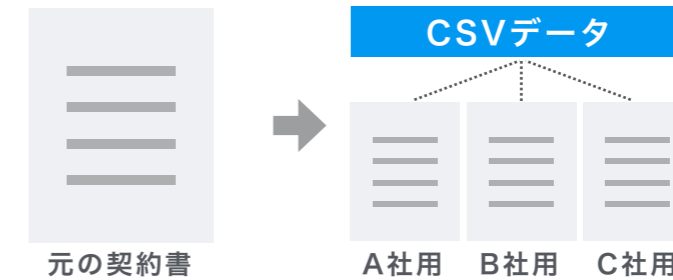
アップロードしたPDFに、任意の文字やチェックボックス、押印欄を設定し、帳票を作成できます。また、それらを設定したPDFファイル・宛先等の情報をテンプレートとして保存も可能。書類の送信時に呼び出すことができます。

こんなお悩みを解決できます

- ・ 顧客に記入をしてもらう箇所が契約書や申込書にある
- ・ 法務部または総務部が用意したフォーマットで顧客と契約締結してほしい

一括書類作成機能

氏名、金額、支払期限、個別条件といった
契約毎に異なる文言をCSVデータで読み込むことで、
大量の契約書を瞬時に自動作成することができます。



一括送信機能

自動作成した契約書を数百社～数千社の取引先に対し、
クラウドサイン上にてワンクリックで一括送信できます。



こんなお悩みを解決できます

- ・ 同じ内容の契約書を何百人単位で送る必要があり、送り忘れや記入漏れが心配
- ・ 大量に送った契約書の回収に時間と労力がかかる

サービス連携API

自社サービスの申し込みフォームなどを用いてAPI連携し、お申し込みから契約書の作成、契約締結を全てWeb上で、完全に自動で完結させることができます。

基幹システム連携

Salesforceやサイボウズなど、基幹システムをAPIで連携することにより、社内稟議のワークフローと契約締結業務の自動連携が可能となります。

こんなお悩みを解決できます

- ・ 送信先・共有先の誤記入・誤送付を防ぎたい
- ・ 社内の稟議手続きと契約締結から保管・管理までの業務を連動させて効率化したい
- ・ 大量の契約締結業務を限られたリソースで行いたい

登録制限

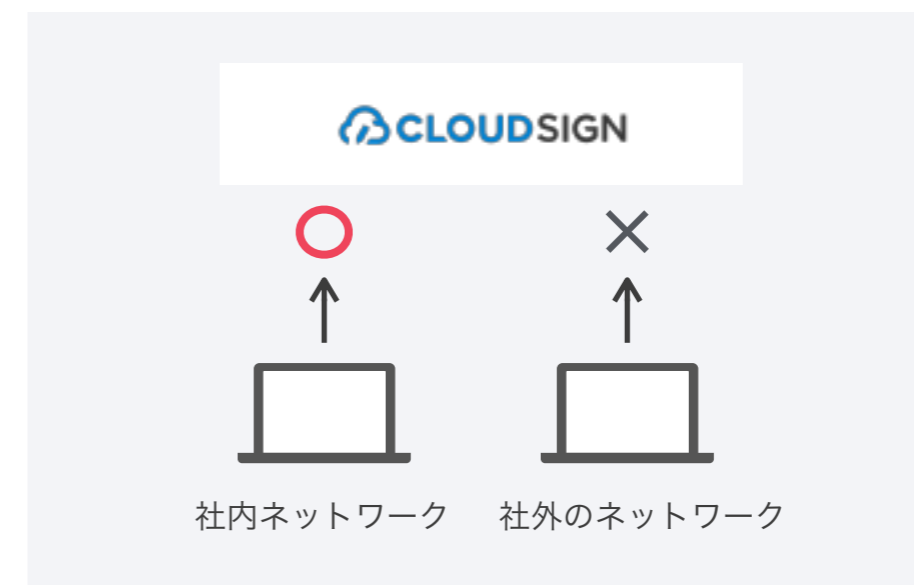
自社社員が自由にクラウドサインに登録する事を制限する機能です。

制限をかける事によって、自社の他の社員がウェブサイトからクラウドサインにアカウント登録し、取引先と無断で契約するといった事を未然に防ぎます。



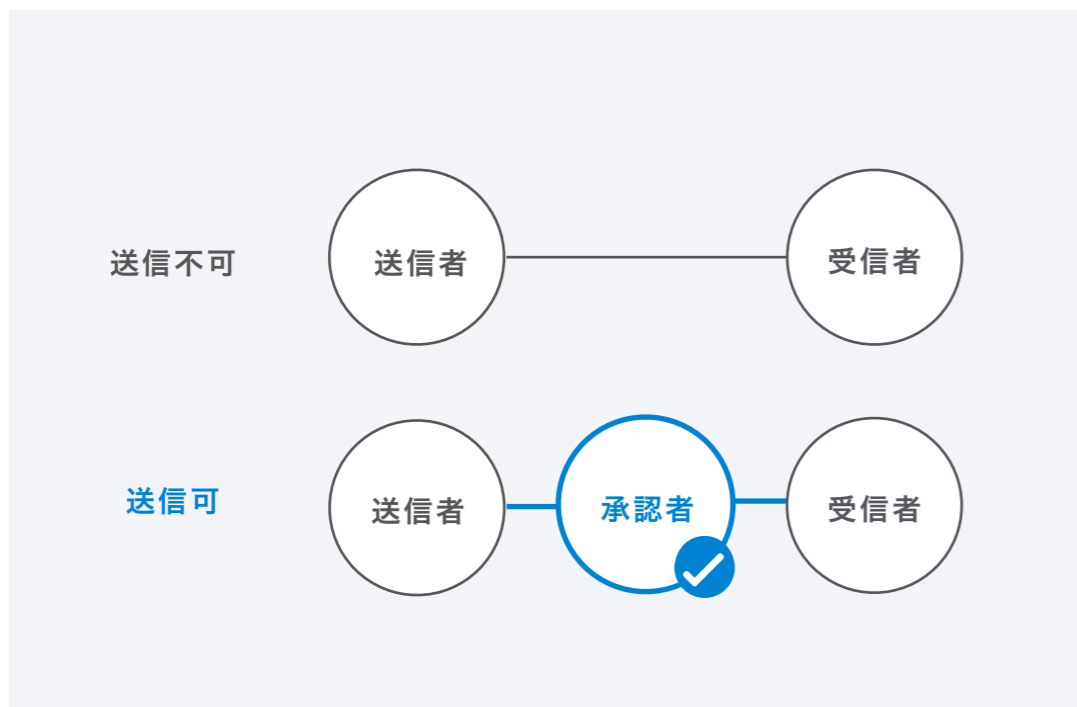
アクセス制限（送信側）

登録されていないIPアドレスからクラウドサインへのアクセスを制限する機能。より厳格な内部統制を望む企業では、アクセス制限を有効にしておくことで、たとえば社内ネットワークに接続している状態でのみクラウドサインでの文書送信を認めるといった制御が可能です。



承認権限（送信側）

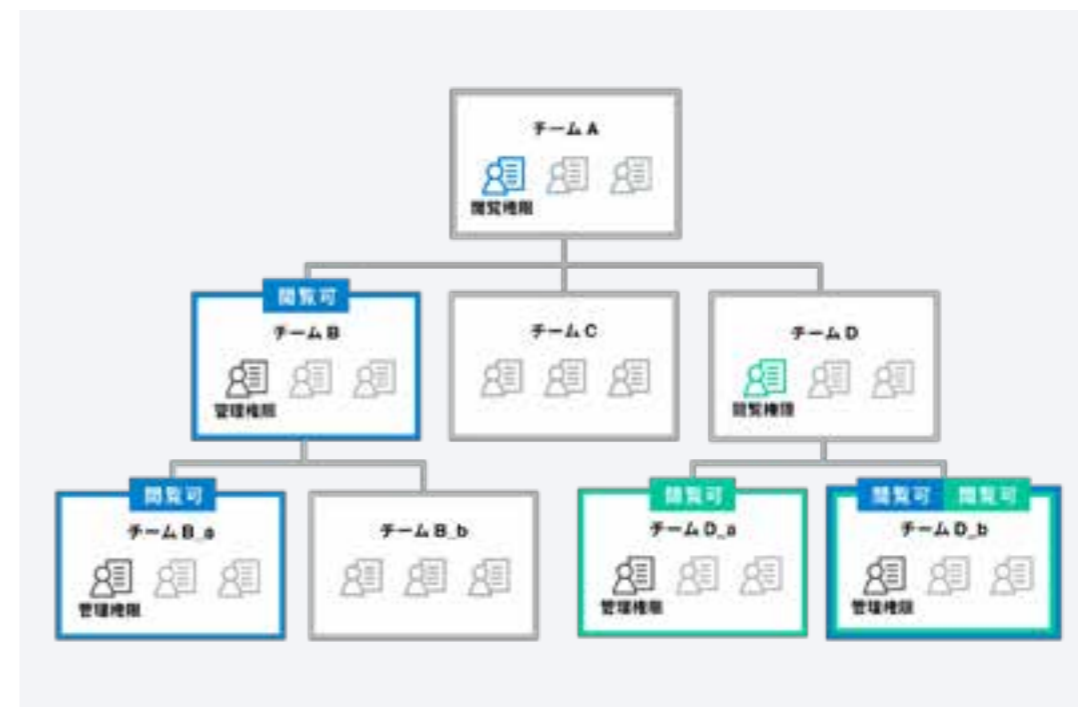
社内の承認者を送信フローに含めないと送信できない機能。
 これにより、メンバー権限のアカウントを付与された社員が、本来社内の契約責任者を通さなければならない契約を無断で送信してしまうリスクを防ぎます。



高度な管理機能

（複数部署/子会社閲覧設定）

法務など管理部門が別アカウントの締結書類などを閲覧可能に。
 この機能により、クラウドサインを導入している複数の部署や、法務機能を持たない子会社などの契約書類を見ることができます。



<h2>Standard</h2> <p>全ての基礎機能</p>	<div style="text-align: right; color: white; font-weight: bold; padding: 5px;">NEW</div> <h2>Standard plus</h2> <p>standard+インポート機能</p>	<h2>Business</h2> <p>高度なリスク管理機能</p>																								
<p>¥ 10,000~ /月</p>	<p>¥ 20,000~ /月</p>	<p>¥ 100,000~ /月</p>																								
<table border="0"> <tr><td>月額固定費用</td><td>10,000円</td></tr> <tr><td>送信件数ごとの費用</td><td>200円</td></tr> <tr><td>ユーザー数</td><td>無制限</td></tr> <tr><td>送信件数</td><td>無制限</td></tr> </table>	月額固定費用	10,000円	送信件数ごとの費用	200円	ユーザー数	無制限	送信件数	無制限	<table border="0"> <tr><td>月額固定費用</td><td>20,000円</td></tr> <tr><td>送信件数ごとの費用</td><td>200円</td></tr> <tr><td>ユーザー数</td><td>無制限</td></tr> <tr><td>送信件数</td><td>無制限</td></tr> </table>	月額固定費用	20,000円	送信件数ごとの費用	200円	ユーザー数	無制限	送信件数	無制限	<table border="0"> <tr><td>月額固定費用</td><td>100,000円</td></tr> <tr><td>送信件数ごとの費用</td><td>200円</td></tr> <tr><td>ユーザー数</td><td>無制限</td></tr> <tr><td>送信件数</td><td>無制限</td></tr> </table>	月額固定費用	100,000円	送信件数ごとの費用	200円	ユーザー数	無制限	送信件数	無制限
月額固定費用	10,000円																									
送信件数ごとの費用	200円																									
ユーザー数	無制限																									
送信件数	無制限																									
月額固定費用	20,000円																									
送信件数ごとの費用	200円																									
ユーザー数	無制限																									
送信件数	無制限																									
月額固定費用	100,000円																									
送信件数ごとの費用	200円																									
ユーザー数	無制限																									
送信件数	無制限																									
<p>書類作成・送信</p>	<p>書類作成・送信</p>	<p>書類作成・送信</p>																								
<p>電子署名+タイムスタンプ</p>	<p>電子署名+タイムスタンプ</p>	<p>電子署名+タイムスタンプ</p>																								
<p>テンプレート作成・管理</p>	<p>テンプレート作成・管理</p>	<p>テンプレート作成・管理</p>																								
<p>チーム管理</p>	<p>チーム管理</p>	<p>チーム管理</p>																								
<p>Web API</p>	<p>Web API</p>	<p>Web API</p>																								
	<p>紙の書類インポート機能 上記月額費用には、書類1000件までの保管料が含まれます。1001件以降は1000件毎に10,000円の書類保管費用が加算されます。</p>																									
		<p>アカウント登録制限</p>																								
		<p>IPアドレス制限</p>																								
		<p>承認権限設定</p>																								
		<p>電話サポート</p>																								
		<p>SSO/SAML認証 対応予定</p>																								
		<p>複数部署/子会社間覧設定</p>																								

クラウドサインにて一元管理可能



クラウドサインが契約管理台帳に



✔ 契約書の検索が一瞬で

倉庫から取り寄せるので3営業日必要



10秒程度で検索し表示可能

✔ 全社の契約書の把握が可能に

事業部のキャビネットに眠っている



法務が全社の契約書を把握

✔ 期限管理が可能に

現場管理だと解約・更新漏れが頻発



自動アラートで期限管理可能

5万社の導入実績が生み出す
クラウドサインの
「導入支援コンサルティング」

電子契約用の運用体制 (フロー) 構築



取引先への説明会実施



社内関係者向け説明会の実施



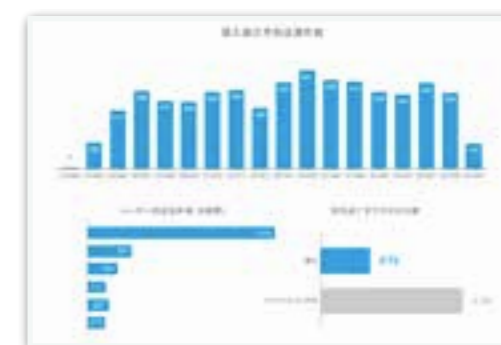
運用スタートまでのタスク表作成



取引先への説明資料作成



導入後のレビュー会実施



コンサルティングサービスまとめ

メニュー

■ヒアリング+業務フロー図作成

電子契約での業務フローを設計いたします

コンテンツ：ヒアリングシート、業務フロー図

■利用計画表作成&キックオフミーティング

利用開始までのToDoを可視化させます

コンテンツ：利用計画表（ガントチャート）

■説明会実施

社内向け&取引先向け説明会を1度ずつ実施いたします

コンテンツ：電子契約についてのガイド、送信者マニュアル、受信者マニュアル

■振り返りレポート作成&振り返りミーティング

利用開始3ヶ月後に振り返りレポートを作成いたします

コンテンツ：振り返りレポート

対面 × 1

対面 × 2

対面 × 1

費用

別途有償のため
お問い合わせください

【対象】

- ・ ビジネスプランの企業様は必須
- ・ スタンダードプランの企業様は任意

※費用は初月にご請求。

※別途電話サポートやメール、チャットサポートもごさいます。

クラウドサインが選ばれる理由



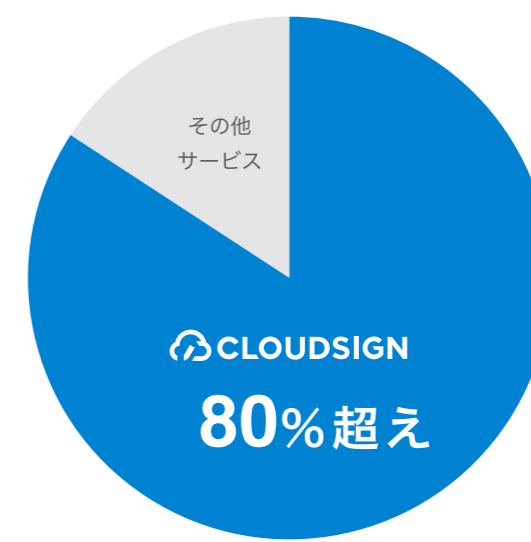
弁護士監修で 法的に安心だから

弁護士監修で各種機能開発を行っており、電子帳簿保存法に準拠。さらに「認定タイムスタンプ」を採用しており、法的に安心いただけるプロダクトです。



操作画面がわかりやすく 相手も安心だから

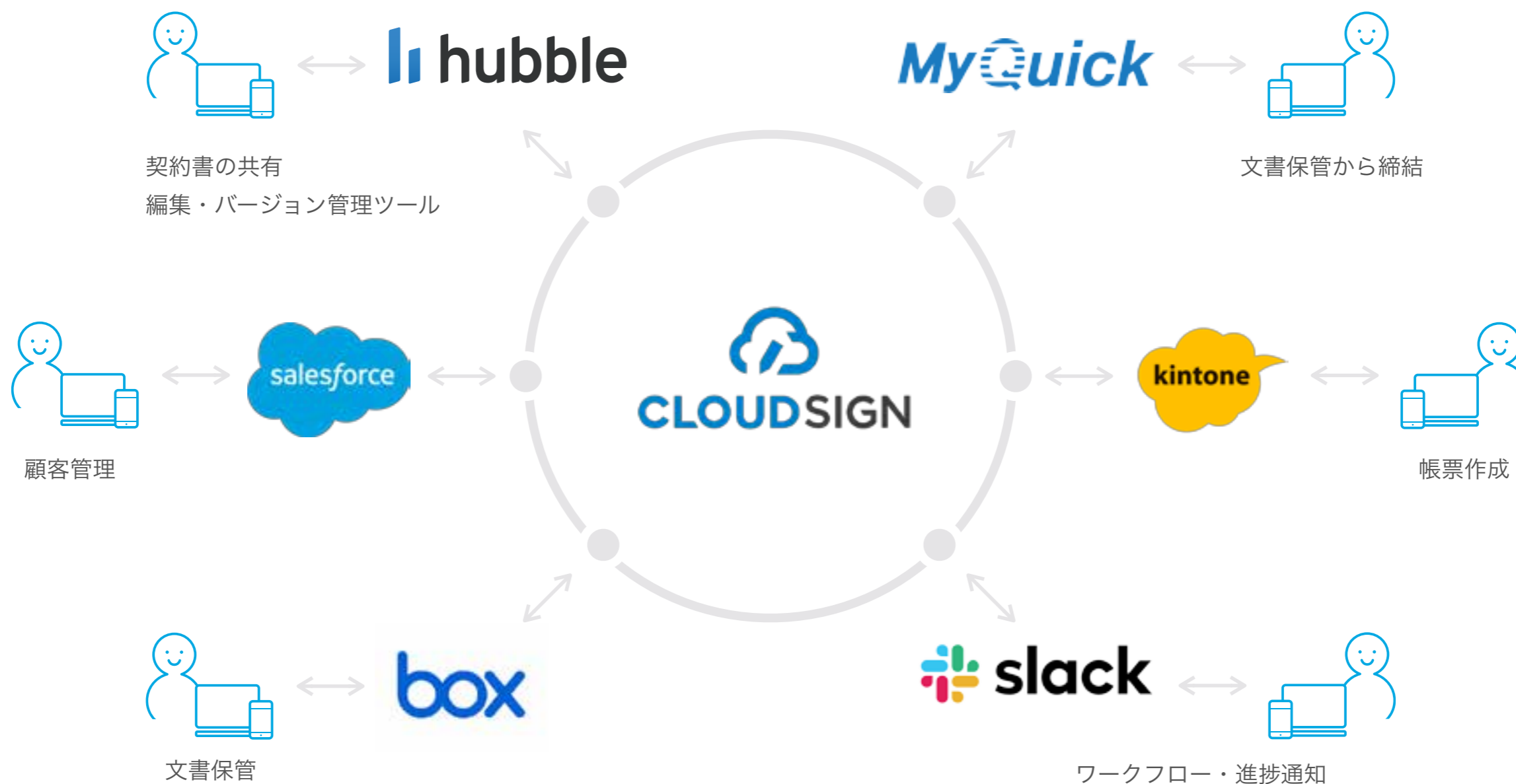
初めて利用する方にも直感的に操作いただけるよう、徹底的に利用者目線でUIを作り込んでいます。また、APIも各種サービスやシステムとの組み込みが簡単にできるような仕様になっています。



大手も導入していて 安心だから

5万社以上が導入している電子契約市場 No.1のサービスであるため、取引先も既にクラウドサイン導入企業である可能性が高く、導入後も安心して契約締結できます。

理由 2. 連携サービスが豊富だから



プロダクトパートナー



戦略的業務提携パートナー



セールspartner



対面で即時契約 クラウドサイン NOW



iPadアプリを使い帳票作成～契約締結を
その場で行う対面契約ソリューション。

おすすめの利用シーン：

- ・対面営業の申込書締結
- ・対面での雇用契約書の締結

書類データ化で楽々検索 クラウドサイン SCAN



契約書のデータ化は「働き方改革」への
第一歩です。OCR処理や書類情報の付与
により、必要な書類に素早くアクセスで
き、契約書のデータ分析も可能となるた
め、より生産的な業務に活用できます。

契約締結と決済を同時に クラウドサイン PAYMENT



契約書（請求書）を作って送るだけで、
契約と同時にクレジットカードでの支払
いを受けられます。

導入費用0円で、未回収を0にします。

※別途お申込み(有料)が必要です。詳細はお問い合わせください。

対面申込・契約も可能な
クラウドサインNOW

対面での申込みから、データを元に経営の意思決定を

来店カードや申込書、雇用契約を紙からタブレットに置き換えるだけで、お客様情報や人事情報をリアルタイムでデータ化・分析可能。

店舗経営、法人営業で活用をオススメする、

iPadアプリとCRM（顧客管理システム）を提供する「クラウドサインNOW」



素早い戦略作りが可能

手書きした情報を文字認識し、
即時データ化



顧客管理システムに
リアルタイムにデータ化



見込み顧客、売上予測などを分析し
マーケティング活動へ



今までお使いの
申込書や来店カードを
そのまま利用可能



免許証や保険証など
本人確認書類も
撮影可能

申込書や契約書情報と紐付けて保存可能



手書きサイン機能

お客様の手書きサインを
申込書などに表示することも可能





店舗の 来店カード・申込書

フィットネスクラブ、結婚式場、エステ、不動産店舗等の申込書での利用。現場での転記作業をなくし、来店データを即時データ化し活用。



法人営業での 申込・契約

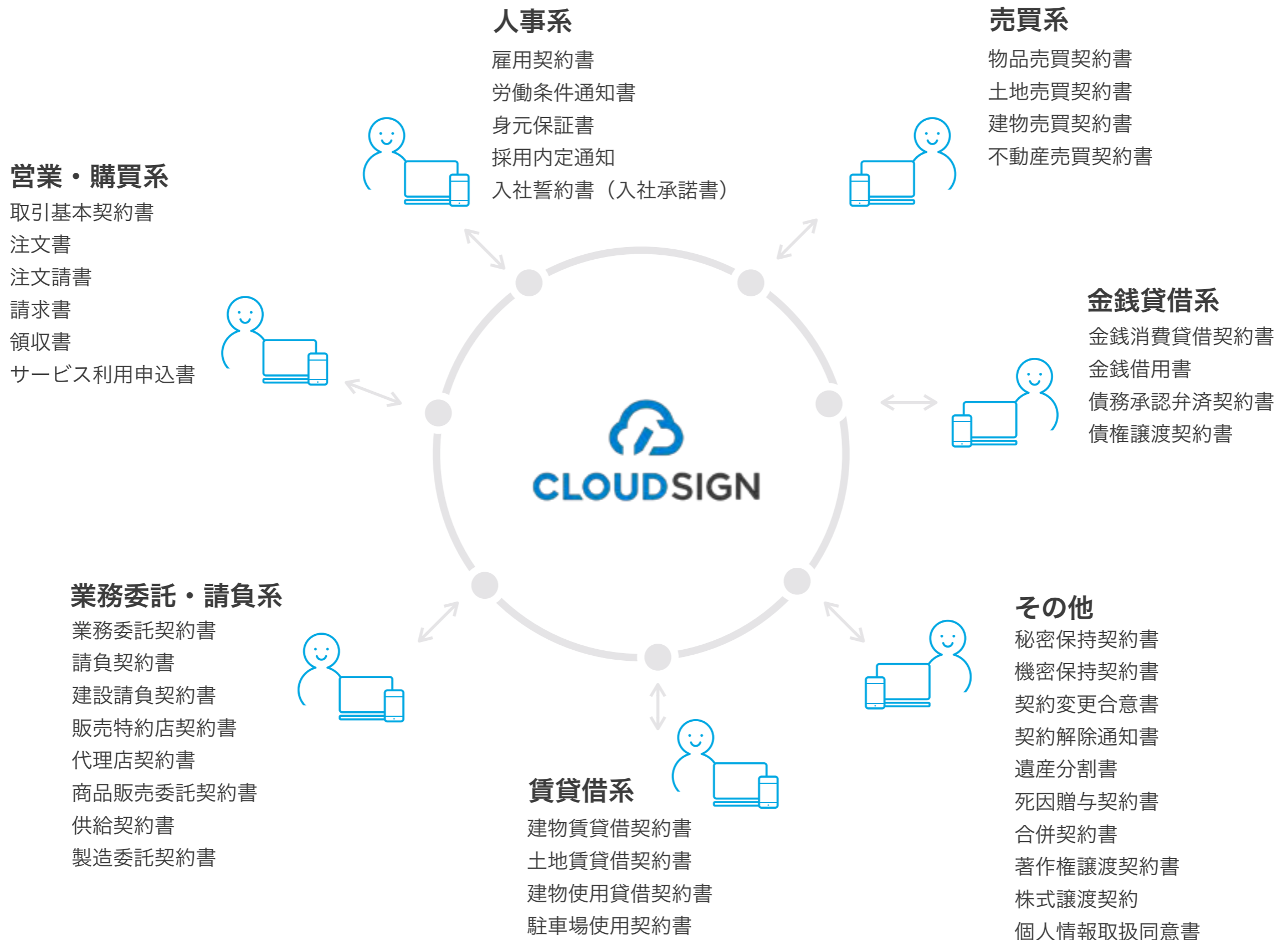
法人営業での対面申込・契約の締結での利用。営業本部にも受注データを即時共有が可能で、即時の戦略立てに役立ちます。



雇用契約書の締結と 人事情報の管理

人事情報のデータベースとして利用。雇用契約情報をデータ化することで、社員の年代別構成比、部署別の構成比等をかんたんに見える化することが可能。

APPENDIX



現場が抱える課題

- 1 稟議降りてから契約締結までに1週間はかかる
- 2 先方に送付した契約書をなかなか回収できない
- 3 契約書が先方の社内でどんな状態かわからない
- 4 契約締結が遅れることで、売上が翌月にズレたりする
- 5 拠点が複数あるので、契約書の押印申請に社内便を使っている
- 6 社印が本社にあり、遠隔地の拠点からは郵送で押印をもらっている
- 7 上司が出張していて、押印申請が止まる
- 8 電子稟議システムを導入しているが、稟議降りた後の押印申請は紙のまま
- 9 いくらの印紙が必要か、調べるのが面倒

管理面での課題

- 10 少ない人数での契約作業が大変（製本、印刷、郵送、保管など）
- 11 スペース的にキャビネット保管に限界をそろそろ感じている
- 12 いざ、キャビネットを探しても、あるはずの契約書がなかなか見つからない
- 13 契約書のスキャンがそもそも面倒（文書管理システムに入れるため）
- 14 文書管理システムで検索しても、あるはずの契約書が見つからない
- 15 ペーパーレス化を進めたいけど、何から進めていいかわからない

全社的に抱えるコストの課題

- 16 収入印紙のコストがかさんでいる
- 17 G会社間で印紙貼るのが勿体無く感じる
- 18 各種書類の郵送代が高い
- 19 契約書返送用のゆうパックを折りたたんで入れている
- 20 書類を紙で発行し封入し発送するために人員コストをかけている（派遣社員やアウトソーシング含む）
- 21 郊外に書類保管のための倉庫を借りており、年間でかなりコストがかかっている

テンプレート設定

貴社の契約書の雛形をPDFファイルでテンプレートとして保存し、書類の送信時に呼び出すことが可能。

帳票作成

アップロードしたPDFに、フリーテキスト欄やチェックボックス欄、押印欄を設定し、帳票を作成。

ステータス確認

相手先の開封状況（開封済みか、開封時間なども把握）、誰まで承認が終わっているかなどのステータス確認

リマインド機能

ボタン一つで、なかなか承認しない相手先へのリマインドも可能。
（期限切れのURLの再発行にも使用可能）

承認権限機能 ビジネスプランのみ

社内の承認者を送信フローに含めないと送信できない機能。

アクセス制限 ビジネスプランのみ

登録されていないIPアドレスからクラウドサインへのアクセスを制限。

二要素認証

送信者が設定したアクセスコードを、受信側が画面に入力してから書類を閲覧できるようにする機能。

転送機能

書類を受信した相手先担当者が、相手先社内の契約締結権限者に転送することが可能。

インポートデータ保管 オプション

紙で締結した契約書をPDF化して、クラウドサインに取り込むことで、一元管理が実現可能

検索機能

契約書名、受信者側の氏名、会社名、メールアドレスで検索はもちろん、契約期間や金額などでも検索も可能。

アラート機能

解約通知期限などの年月日データを入力し、アラート設定することで、契約の更新漏れや解約漏れを防げることが可能。

一括帳票作成/送信

特定の雛形契約書に、CSVデータを流し込むことで、複数の書類を一括作成し、ワンクリックで一斉送信が実現可能。

権限設定

締結済み書類を閲覧する権限、メンバーを追加する権限など、各種権限を任意のメンバーのみに設定可能。

複数部署/子会社閲覧機能 Coming soon

法務などの管理部門が、別アカウント（社内の他事業部や管理する子会社）の締結書類などを閲覧可能。



会社名	弁護士ドットコム株式会社 (英文表記：bengo4.com,Inc.)
所在地	〒106-0032 東京都港区六本木四丁目1番4号 黒崎ビル6階
設立	2005年7月4日
資本金	436百万円 (2018年6月現在)
上場市場	東京証券取引所マザーズ [証券コード：6027] 2014年12月11日上場

弁護士ドットコムとは

日本最大級の法律相談ポータルサイトです。

弁護士への無料相談、地域や分野などから弁護士や法律事務所の検索サービスを始め、法律トラブルの解決をサポートするコンテンツを多数ご用意しています。

